

こんにちは寺内地域包括支援センター 寿光園です

2024

秋号

9月は世界アルツハイマー月間であることは皆さんご存じでしょうか？
包括の取り組みや新しい認知症観について触れたいと思います。

古い認知症観

(他人ごと、問題重視、疎外、絶望)

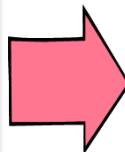
- ①他人ごと、目をそらす、先送り
- ②認知症だと何もわからない、できなくなる
- ③本人は話せない/声を聞かない
- ④おかしい言動で周りが困る
- ⑤危険重視
- ⑥周囲が決める
- ⑦本人は支援される一方
- ⑧認知症は恥ずかしい、隠す
- ⑨地域で暮らすのは無理
- ⑩暗い、萎縮、あきらめ、絶望感



新しい認知症観

(わがごと、可能性重視、ともに、希望)

- ①わがごと、向き合う、備える
- ②わかること、できることが豊富にある
- ③本人は声を出せる/声を聞く
- ④本人が認知症バリアの中で一番困っている
- ⑤あたりまえこと(人権)重視 自由と安全のバランス
- ⑥本人が決める(決められるように支援)
- ⑦本人は支え手でもある。支え支えられる関係
- ⑧認知症でも自分は自分、オープンに
- ⑨地域の一員として暮らし、活躍
- ⑩楽しい、のびのび、あきらめず、希望を！



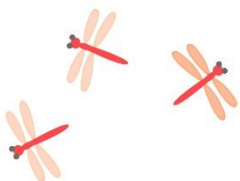
★認知症観を転換し、希望のある「めざす姿」を！



認知症予防事業 アタマとカラダの健康教室
認知症予防の一つに運動が挙げられます。頭と体を同時に使った運動を行うことで脳に刺激を与えます。月に2回、4カ月間実施しています。



セリオンでの認知症啓発パネル展
9月のアルツハイマー月間に合わせ、セリオンと土崎図書館で認知症についての理解、普及啓発のためのパネル展示を行いました。



お問合せ、
その他ご相談は

寺内地域包括支援センター寿光園
住所：寺内後城6番41号
電話：853-6300